

- Q. 新政権へ期待する点と不安視する点は  
 Q. 地域活性化に向けての方策は  
 Q. 社会教育関係団体育成の方向性は

新政権へ期待する点と不安視する点は

**質問** 8月30日実施の衆議院議員選挙は民主党の圧勝という結果となったが、新政権へ期待する点、不安視する点を伺いたい。

**町長** 選挙結果は約60年続いた自民党政治に対し国民が変化を求めた結果ではないかと思う。真の2大政党政治の始まりであり、国民目線にたった国民のための政治が行われるよう、一国民として強く願っている。

町長の立場では、期待感より不安視する点が多い。農業大国アメリカとの2国間FTA交渉促進による道内農業への影響、農家戸別補償の詳細、経済危機対策等に対応する基金事業の凍結方針、高速道路無料化による都市部への人の流入や高速道路維持財源不足、ガソリン税の暫定税率廃止による町の歳入減、子ども手当、公立高校の授業料無償化等の財源確保方策、等々である。また、年金・医療・介

護制度の再構築は国民が最も注視しており、国民が安心して暮らせる社会に推移するよう期待している。

地域活性化に向けての方策は

**質問** 行政区で実施される区民の交流・親睦・文化行事伝承等は特色ある地域づくり、強いては住み良いまちづくりの一助として大切に思っている。これまで「大和青年団」が主体となつて開催していた「盆踊り」が取り止めとなり、季節行事の灯が一つ消えたような気がする。地域の活性化に向けての考えを伺いたい。

**町長** 人口減少や少子高齢化により、長年続いている地域の文化や伝統行事が無くなつていくことは誠に忍びない。地域の文化は、其処に住む人々の心の支え・拠り所として発展・継承されてきたもので、決して他から強制されて行われてきたものでは無いと思ふ。

地域の伝統行事や優れた文

化活動を側面から支援することにより、地域文化の伝承に貢献できればとの思いで、今年度「行政区文化づくり事業」を行政区活動支援メニューに加え、各行政区に知らせた。質問の大和区では様々な事情により、盆踊りが実施されなかったが、この制度を活用し新たな地域行事を開催した区もあった。

各行政区に配置しているサポーター職員を活用し、地域活性化に向けたアイデアの提供や実践をお願いする。

社会教育関係団体育成の方向性は

**質問** 社会教育関係団体は高齢化、新規加入者の減少等により、団体活動の枠を越えた諸行事への参加協力が負担となりつつあるとの声を聞くが、これからの団体育成の方向性について伺いたい。

**教育長** 女性団体や青年団体等は、新規加入会員が減少、構成会員年齢も高くなっている。これまで町や観光協会主

催事業にも積極的な参加やスタッフ支援の協力をいただいていることに感謝している。これらの活動は、団体自身が社会参加活動の意義を大事にし、地域や人とのつながりを深めつつ、団体活動の活力や存在意義の高揚となつてきたと理解している。このような活動が、団体本来の活動に支障を来たしているようであれば見直しが必要だと思ふ。教育委員会としては、これまで同様に、社会教育関係団体の自主性を尊重しながら、団体活動が円滑に推進するよう、側面支援と環境づくりに努めたい。

### 中学生模擬議会を開催！

10月19日、町議会議場において『中学生模擬議会』が開催され、議員役の中学3年生10名が緊張感の漂う中、町長や教育長に対し、町政への様々な疑問や提言など15問の一般質問を行い、町理事者も丁寧に応答していた。